

旧約聖書の哲学・倫理的解釈

関連キーワード: 旧約聖書、キリスト教、哲学、倫理学、宗教対立

研究内容

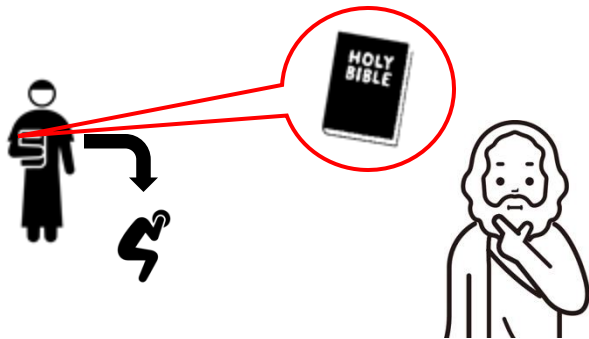
・前提

旧約聖書は、ユダヤ教、キリスト教、イスラームおよびそれらから派生した諸宗教の基底となるテキストであり、宗教対立・宗教多様性の時代にあって、一定の共通の地盤として機能しうるのはものである。しかし、その解釈をめぐる対立が生じており、しかも聖書という権威を用いた暴力の正当化も行われてきた。

・研究内容

とくに暴力の正当化に用いられうるとされるテキストについて、解釈史を参照しつつ、テキストおよび各解釈が潜在的・発展的に含む問題や暴力性について、近現代のテキスト理論や哲学などを参照することで批判的に検討し、旧約テキストに関連する倫理的問題の本質の所在と、人類と社会にとっての積極的な意義を探究している。

その際、人間が何かしらの宗教性を志向するという事実や、歴史性、政治性を軽視しないことによって、現実的な人間や社会の在り方に立脚した洞察となるように心がけている。



研究者プロフィール

- ・文学部総合人文学科 准教授 田島卓
- ・専門分野: 旧約聖書学、倫理学、宗教学
- ・研究分野: 旧約聖書、エレミヤ書
- ・所属学会: 日本倫理学会、日本基督教学会ほか
- ・主な経歴、著書
『エレミヤ書における罪責・復讐・赦免』
日本キリスト教団出版局、2018年。



地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・倫理的・宗教的問題に関するコンサルテーション。

IT技術の発展と浸透に伴い、地域や世代間の感覚のズレが倫理的問題を引き起こしやすくなっています。無意識に許容されると思っていたがそうではなかったというような問題を未然に防ぐためのコンサルテーションが可能かもしれません。

研究者への連絡先

t.tajima@mail.tohoku-gakuin.ac.jp